

☑ 文書ブラウザの便利機能を活用しよう!



文書ブラウザの便利機能攻略	!	1	
---------------	---	---	--



入力したキーワードを キーワードの設定ですばやく査読 記録、更新することが メインワード入力欄 できる 🔝 文書ブラウザ ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) メインワード 歩行 項目名 10 ≑ 🔳 ~ ? ~ ▼ クリア 記録 更新 マークするワード ロボット+移動+軸+姿勢 ◇ ▼ クリア 記録 本文 10 🚔 3件表示 ED刷 自動表示▼ PDF(ローカル)(R) PDF(URL)(U) 代表図(I) JP-NETで表示 、索(F) ☑グループワード有効 前の文書(P) 次の文書(N) 表示項目 文書一覧 ユーザーメモ3 ごみ箱へ(D) マークするワード入力欄 **T** / ☑全て表示する 全選択 全解除 入力したキーワードを 出願番号 ユーザーメモ2 ユーザーメモ4 \sim 発明の名 記録 文書一覧 🗌 出願人_ 🔲 要約/課 タブ 重要度6 要約/解 重要度7 要約 特許請求の範囲 重要度8 ■ 特許請求の範囲 要約/その他の項目 【請求項1】少なくとも上体と、前記上体に股関節を介して揺動可能に連結される2本の脚部リン 重要度9 □ 発明の詳細な説明 クと、前記上体に肩関節を介して揺動可能に連結される2本の腕部リンクとを備え、前記脚部リン 重要度10 技術分野 クを揺動させて作業空間内の床面上を歩行すると共に、少なく 背景技術 11 記作業空間内の作業対象物群に対する作業を行う2足歩行ロボ キーワードをダブルクリック □ 発明が解決しようとする課題 12 トの直立探察時における前記脚部リンクの床面接地端から前記 ■ 課題を解決するための手段 すると、文中のキーワードに 13 物群の床面からの高さを平均して得た平均値とそれらの標準偏 - 発明の効果 記錄(S) □ 発明を実施するための形態 値とすることを特徴とする2足歩行ロボット。 ジャンプします 【請求項2】前記範囲が、700mmから1000mmである ■ 産業上の利用可能性 し 一 使用キー非表示 □ 出願人/氏名又は名称 記載の2足歩行ロボット。 数 キーワード □ PC説明. 【請求項 🚄 前記腕部リンクは、少なくとも前記上体に前記肩関節を介して揺動可能に連結される 1 103 ロボット/自動機械/ロボツト □ Fターム説明 前記上腕リンクに肘関節を介して揺動可能に連結される下腕リンクとからなると共 上腕リ ── 公報種別 0 移動 リンクの長さを前記標準偏差ヶに基づいて設定することを特徴と 2 lia, CPC 項記載の2足歩行ロボット。 34 車曲 ハイライト設定は ファセッ 4 39 姿勢 :も上体と、前記上体に股関節を介して揺動可能に; メインワードは赤太文字で表 ____ □ 文書9 間節を介して揺動可能に連結されると共に、端部に、 文字──致 5 85 歩行/歩く/歩き/歩け FI说明 示され、マークするワードはカ P脚部リンクを揺動させて作業空間内の床面上を<mark>歩行</mark>すると共に、少なくとも _____ □ 文書9 カさせて前記作業空間内の作業対象物群に対する作業を行う2足<mark>歩行ロボット</mark> ラフルにマーカー表示される 🗆 ユーザ <mark>◎行ロボット</mark>の直立<mark>姿勢</mark>時において前記肩関節が特異点<mark>姿勢</mark>をとるときの前記 🗌 ユーザ 脚部サラクの床面接地端から前記ハンドまでの高さを、前記作業対象物群の床面からの高さを平均」 □ ユーザーメモ3 して得た平均値とそれらの標準偏差ヶに基づいて設定された範囲外の値とすることを特徴とする2 □ ユーザーメモ4 マークするワード 足歩行ロボット。 ─ 大分類/重要度1 ▼【請求項5】少なくとも上体と、前記上体に股関節を介して揺動可能に連結される2本の脚部リン メインワードの 構造/重要度2 クと、前記上体に肩関節を介して揺動可能に連結されると共に、端部にハンドを有する2本の腕部 ĿΛ 先頭へ 出現数 |リンクと、前記上体に首関節を介して揺動可能に連結されると共に、撮像デバイスからなる視覚セ 下へ 末尾へ ンサを有する頭部とを備え、前記脚部リンクを揺動させて作業空間内の床面上を<mark>歩行</mark>すると共に、 保存 読込 |少なくとも前記撮像デバイスによって撮像された画像から得た前記作業空間内の情報に基づき、前 記憶 呼出 記腕部リンクを駆動させて前記作業空間内の作業対象物群に対する作業を行う2足歩行ロボットに 初期状態を呼出 おいて、前記2足歩行ロボットの直立響響時において前記腕部リンクを前記床面と平行な水平方向 閉じる

ここでの注意ポイント!

メインワード

特に注目したいキーワードを入力しておきます。 文書内で太い赤字で表示されます。複数のキー ワードを入力する際には、「+」で連結してください。

■ マークするワード

注目したいキーワードを入力しておくと、文書内 でカラフルにマーキングされます。複数のキー ワードを入力するときは間に「+」を挟みます。

■ 記録・更新

『記録』ボタンを押すと、入力したキーワードが 記録されます。新しいキーワードを入力したときは、 『記録』ボタンをクリックして記録しておき、『更新』 ボタンをクリックして表示を反映させます。

■ 文書削除

『編集(S)』をクリックし、『削除(D)』をクリック すると、そのとき開いていた文書が削除されます。 グループワード有効機能

『グループワード有効』にチェックを入れておくと、 キーワードのグループワードもマーキングされま す。

■ キーワードの出現数表示

メインワードとマークするワードの文書内での出 現回数が表示されます。『不使用キー非表示』に チェックを入れておくと、出現回数1回以上のキー ワードだけが出現回数表示されるので、キーワー ドが出現しているかいないのかが判断しやすくなり ます。

【基本操作編】313















【基本操作編】315





初期状態を呼出



表示項目のチェックをリセットする機能

- 「初期状態を呼出」ボタンをクリックすると、表示 項目のチェック状態を初期状態に戻すことができ ます。
- 表示項目の順番は変更されません。
- 複数の辞書ファイルを利用する時には、辞書の 優先順位を指定することができます。「ファイルを 上に」「ファイルを下に」ボタンによって、辞書ファイ ルの優先順位を変更することができます。
- 単文表示では、全項目にチェックが入ります。3 件表示では【出願番号】【公報番号】【出願人】【要約】など、にチェックが入ります。





PDFファイルとの連動(1)



ここでの注意ポイント!

■ 検索

『検索』ボタンをクリックすると『検索ウィンドウ』 が開きます。検索したい語句を入力すると、書面 内の検索ができます。

文書ブラウザ

■ PDFファイルの表示

『PDF(ローカル)』ボタンをクリックすると、『文 書ブラウザ』で表示している書面のPDFファイ ルを見ることができます。

自動表示

『自動表示』をクリックすると、文書を開くたび に、チェックを付けた機能を自動で実行し、表示 するか選択できます。

『PDF(ローカル)』にチェックをつけておくと、 文書を開くたびに、その文書に対応したPDFを 自動表示します。

■ PDFファイルの設定

PDFファイルを表示するためには、『メインウィ ンドウ』の[システム(<u>S</u>)] → [環境設定(<u>X</u>)] → [フォルダ/URL]タブ で、PDFファイルを格 納しているフォルダの場所を設定しておきます。 また、元データにPDFファイル名を入力しておく 必要があります。

※ JPネットからのPDFリンクは、次のページを参 照下さい。





PDFファイルとの連動(2)



ここでの注意ポイント!

■ JP-NETで表示 <u>>>詳細はこちら</u>

『JP-NETで表示』ボタンをクリックすると、『文 書ブラウザ』で表示している書面をJP-NETで表 示することができます。

文書ブラウザ

NewCSSをご利用のお客様には、「NewCS Sで表示」と表示されます。







代表図との連動



ここでの注意ポイント!

代表図の表示

『代表図を表示』ボタンをクリックすると、『文書 ブラウザ』で表示している書面の代表図を見る ことができます。

文書ブラウザ

■ 代表図自動表示

『代表図自動表示』にチェックをつけておくと、 文書を開くたびに、その文書に対応した代表図 を自動表示します。

■ 代表図ファイルの設定

代表図を表示するためには、『メインウィンド ウ』の[システム(<u>S</u>)] → [環境設定(<u>X</u>)] → [フォルダ/URL]タブ で、代表図ファイルを格納 しているフォルダの場所を設定しておきます。





3件表示と代表図の連動



ここでの注意ポイント!

代表図の表示

公報を3件ずつ表示できる「3件ブラウザ」で、 代表図を表示する機能を搭載しました。「3件ブ ラウザ」の「代表図表示」ボタンをクリックすると 代表図が表示されます。

文書ブラウザ

■ 代表図ファイルの設定

代表図を表示するためには、『メインウィンド ウ』の[システム(<u>S</u>)] → [環境設定(<u>X</u>)] → [フォルダ/URL]タブ で、代表図ファイルを格納 しているフォルダの場所を設定しておきます。





PDF/代表図ファイルの設定

フォルダ/URL 表示色 表示設定 特許データ関連 プロキシ設定 その他 ??
- テンポラリフォルダの場所
C:¥ProgramData¥wides_patents¥patmining_jp64¥tmp¥
有効なフォルダ名です
- PDFファイル格納フォルダの場所
C:¥Program Files (x86)¥wides_patents¥patmining_jp64¥
□サブフォルダも対象に含める
□ 文書ファイルと同じフォルダも検索
代表図面ファイル格納フォルダの場所
C:¥Program Files (x86)¥wides_patents¥patmining_jp64¥
□ サブフォルダも対象に含める
□ 文書ファイルと同じフォルダも検索
- ファイルを開く時に表示するフォルダー
● 最後に使用したフォルダを開く
○以下のフォルダを開く
C:¥ProgramData¥wides_patents¥patmining_jp64¥
有効なフォルダ名です
OK キャンセル

	_
== ==	

ここでの注意ポイント!

■ PDF/代表図ファイルの設定

PDFファイルや代表図を表示するためには、 『メインウィンドウ』の [システム(<u>S</u>)] → [環 境設定(<u>X</u>)] → [フォルダ/URL]タブ で、PDF ファイルや代表図ファイルを格納しているフォル ダの場所を設定しておきます。







表示文字数の制限



文書ブラウザ

ここでの注意ポイント!
表示文字数の制限
[環境設定]→[表示設定タブ]をクリックし、「文 書ブラウザに表示する文字数を〇〇〇〇に制限 する」にチェックを入れると、文書ブラウザに表示 する文字数を制限することができます。
ゲノム塩基配列表記など、非常に文字数の多 い書面を全文表示しようとして、メモリ容量を オーバーすることを防ぐ効果があります。
入力できる値は、500~99999999です。





表示色の設定



ここでの注意ポイント!

表示色の設定

[環境設定]→[表示色タブ]をクリックし、文書ブ ラウザのマークするワードの色を変更することが できます。

文書ブラウザ

また、グラフの色設定にも適用されます。 色設定をもとに戻したい場合は「初期値に戻 す」ボタンで色設定がリセットされます。 色設定完了後、右下に表示されている「OK」ボ タンを押すと設定が適用されます。

その他の表示色の設定

3000

2000

1000

1774

その他のぱっとマイニング内の表示色も変更 することができます。 「空白セル」…セルの空白箇所の表示色 「要注目セル」…特定の分析での注目セルの表 示色 「選択セル」…選択部分のセルの表示色 「5行毎セル」…セルの行カウントが5行の表示 色. 「10行毎セル」…セルの行カウントが10行の表 示色 「枠線の色」…セルの枠線の表示色





